

改善報告書

令和6年7月30日

1. 大学名：尚美学園大学

2. 認証評価実施年度：令和4年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

○情報表現学科の収容定員充足率が1.3倍を超えている点について改善を要する。

4. 改善状況及び結果

基準項目2-1について

令和4(2022)年12月21日に日本高等教育評価機構における評価チームより、評価報告書案として上記3で示された改善点が指摘された。本学ではその対応について、令和5(2023)年2月21日に開催した大学経営会議において協議し、芸術情報学部情報表現学科における学生募集については、学則を変更し収容定員に対する適切な入学者数の管理に努めることが承認された。

令和5(2023)年4月11日に開催した学生募集・入試委員会においては、より適切な入学者数の管理をすべく、入試区分ごとの募集定員について検討し、学校推薦型選抜を60人から80人、総合型選抜を70人から80人に見直すことが承認された。

令和5(2023)年4月26日に収容定員変更に関わる届出を行い、芸術情報学部情報表現学科については定員190人から220人へ30人増員し、令和6(2024)年度生から新たな定員数を適用することとなった。(なお、同時に芸術情報学部舞台表現学科の収容定員は70人から40人へと30人減員している。)

このような施策の結果、芸術情報学部情報表現学科の令和6(2024)年度の入学者数は265人となり、入学定員での充足率は1.205倍、令和6(2024)年5月1日現在での収容定員における充足率は1.295倍に推移し、入学者数の適切な管理へ改善している。